

第53期第4回常任幹事会 報告

日時：2023年8月24日(木)13:30～

会場：東京労働会館5階地評会議室

出欠：吉田、稲葉、加藤(年)、塩野、白滝、阿久津、山根、相川、秋元、市橋、小形、
岡本、加藤(都)、加藤(教)、木崎、工藤、國米、佐久間、田村、築館、中山、
細見、前沢、森松、吉野、小川、窪田

オブ：坂本、高橋

16/27 (●会場、□リモート、__欠席)

議長：小川

会長挨拶

コロナはピークアウトしたのではないかとの話もありますが、現場では全然そうではなく、今日も午前中だけで6～7人陽性者がでており、現在3～4万の感染者という患者さんも驚いています。国が経済優先で宣伝している影響があるので、はやっている事を頭に入れて行動する必要があると思います。

原発汚染水が今日から排出されましたが、トリチウムであれば、通常原発も放出しているが、炉心を経由した水はそれ以外の半減期が長い毒性のある放射性物質を含んでいます。国はそれらを除去しているというが、実際の資料をみると7割くらい残っているものがあります。それをきれいにしていくのが本当なのか不安があります。福島漁協の了解も得られていないし、岸田首相が視察に言ったが、全然了解が得られておらず、強行しています。

マイナカードについては、昨日のヒアリングとんでもない報道がされていました。マイナ保険証を持っていても資格確認のお知らせという通知を持っていないとダメな場合もあるとのこと。オンラインの設備を備えていない医療機関(高齢などで対応できないところ約8千件が正式に認められている)で受診する場合には、マイナ保険証だけでは資格確認できないので、通知も持参する様にしないとならないという訳です。こうなると迷走につぐ迷走で、本当に完遂できるのかこれから注視していきたいと思います。

加盟団体の活動交流

1) 東京歯科保険医協会

資料を送付しましたので、ご覧ください。保険医協会ということで、東京には東京保険医協会と歯科保険医協会の二つがあります。1973年4月に設立され、歯科保険医の経営生活並びに権利を守るとともに国民の歯科医療と健康の充実・向上をはかることを目的として設立された開業歯科医の要求に基づく任意団体という位置づけです。今年50周年と迎えます。オンラインシステム導入義務化などマイナ保険証など現場で起きている問題を取り上げて伝えることが今、重要な位置づけだと思っています。

保険で安心した診療が出来るようにしようというのがキャッチフレーズになっています。治療費が解らない、歯科の報酬が低いことが長年の医療費抑制政策の問題となってい

20230824第4回常任幹事会

ます。報酬を引き上げるとともに患者負担を引き下げる二つを要求しています。虫歯は減ってきていますが、歯周病が増えてきているのでその管理と、全身の健康管理と口腔内の状態との因果関係を含めての調査・研究を進めています。医科歯科連携も大切です。在宅歯科医療の重要性も高まってきています。医療技術の学術研究会などで技術の向上もはかっています。経営や法律でのフォローも協会で行っています。資料の歯科医医療費割合の年次推移をみると医療費全体が伸びている中で6.8%とずっと下がってきており、問題となっています。失われた16年と言われ、現在約3兆円の歯科医療費は、本来であれば4.3兆円あるべきと言われ、総枠を引き上げることを全国で要求しています。現場の声をしっかりとつかみながら、保険証の廃止するな等の運動も行っています。

・・・訪問歯科診療は国の政策としても増やそうとなつていますが、微増となっているのが現状で、協会としても分析をしています。外来がメインとなっている中で、時間帯がとれない、訪問専門業者が入ってきて過去に制度的に縮小した経過もあって、増えていないのが現状です。インプラントなど通院している時はフォローできるが、在宅になるとフォローできない体制であることが問題だと考えています。

・・・補綴物の材料が高騰しており、逆ザヤが生じていました。要求した結果、現在3カ月に1回材料価格については改定することになりました。

2) 東京都教職員組合

急な交渉が入り、本日は欠席。次回に。

* 次回の団体交流は、「都教組」と「東京医労連」か「福祉保育労東京地本」にお願いします（質疑も入れて各15分程度です）。

I、報告

1、活動報告

07月	27日(木) 15:30～	人権としての医療介護東京実行委員会
	28日(金) 13:30～	介護保険事業第9期調査プロジェクト
	13:30～	都民生活要求運動実行委員会第3回予算学習会
	29日(土) 13:30～	第1回地域社保協交流集会 5階会議室+Web
08月	02日(水) 10:00～	中央社保協第1回介護・障害者部会
	13:30～	中央社保協第1回運営委員会 医労連会館2階+Web
	10日(木) 17:00～	保険証廃止中止署名宣伝行動 上野駅広小路口
	23日(水) 18:00～	中央社保協第2回代表委員会 オンライン
	24日(木) 13:30～	東京社保協第53期第4回常任幹事会
	17:00～	インボイスやめろ全国いっせい行動 新宿駅東口 デモ

2、中央社保協、加盟団体の取り組み

(1) 中央社保協

中央社保協第1回運営委員会報告

資料：1～3

(2) 加盟団体・友誼団体の総会・学習会など

7月28日(金)13:30～ 年金者組合東京都本部第34回定期大会

8月04日(金)17:30～ マイナンバー制度反対連絡会2023年度総会 小川、窪田

8月05日(土)10:00～ 西東京社保協 マイナンバーカード学習会 窪田

(3) 事務局・幹事団体

1) 人権としての医療・介護東京実行委員会

①事務局会議 7月27日(木)15:30～17:15 5階地評会議室

- ・第1回地域医療構想調整会議が島嶼を除き終了。医療へのフリーアクセスが抑制されることにつながる論議なのに、都民に知らされないままに協議されている。内容を知らせることが必要ではないか。
- ・7/27広域連合臨時議会では、新たに日本共産党議員が複数選出された。
- ・連絡会のアンケートは900集約し、今後分析、チラシを作成する。また、各病院への要請も行う。
- ・8/26に台東病院を守る会は3年ぶりに総会を開催する。

②協議事項

- ・介護請願署名案文への意見を8/1までに。
- ・都民要求運動の項目に「都立・公社病院を直営に戻せ」を入れる
- ・実行委員会として都議会に現行保険証廃止中止の請願を提出する
- ・都知事選にむけた政策づくりの具体化については、次回協議する。地域医療構想に対する意見をどう反映させていくかは課題。

③次回事務局会議 9月28日(木)15:30～(社保協常幹終了後) 5階地評会議室

2) 介護をよくする東京の会 <今月会議なし>

①次回事務局会議 9月13日(水)10:00～ 5階地評会議室

3) 生存権裁判を支える東京連絡会 <今月会議なし>

- ・次回宣伝 9月9日(土) 17～18時 大塚駅
- ・原告を励ますつどい 10月7日(土) 14～16時 地域保健企画ビル6階
- ・次回口頭弁論第16回 10月16日(月) 12時半～ 東京地裁前宣伝と傍聴行動、報告会

①次回幹事会 9月1日(金)13時半～ 5階地評会議室

4) 消費税廃止東京各界連絡会 <この間は会議なし>

チラシ参照

- ・7/26大塚駅宣伝 4団体7名参加 署名2筆
- ・8/24 17～18時 新宿駅東口アルタ前宣伝、18時～ デモ

①次回事務局団体会議 未定

5) 東京高齢期運動連絡会 <今月会議なし>

資料：4～10

- ・「第36回日本高齢者大会 in 東京」を11月12～13日(月)に開催
大正大学(分科会)と文京シビックセンター大ホール(全体会)

①次回常任幹事会 9月14日(木)14:00～ 東部区民事務所

…全体会は1,800人入るが、溢れた場合は地下多目的ホールにウェブ会場を設けています。今後、様々な団体で参加呼びかけしていく予定です。

6) 都民連 <今月会議なし>

- ・都議会開会日行動 9月19日(火)12時15分～ 都庁前
- ・革新都政の会学習会 8月24日(木)18時半～ 日比谷図書館コンベンションホール
「東京の基地と平和問題」 講師：小泉親司氏
- ・総会の開催 9月4日(月)15時～ ラパスホール
「公共を取り戻すー地方行政・地方議会の再生とともに」 講師：内田聖子さん

①次回世話人会 総会時に提案 10月の予定 5階地評会議室

(4) 共闘団体など

なし

3、会計報告

綴末資料

今月の収入について：1団体から会費の納入をいただきました。これにより、当期会費納入率は金額で95.4%、団体数で73.3%となりました。マイナ保険証学習会講師要請によるその他収入がありました。繰入金含む収入累計は1,261万6,062円、執行率95.9%となりました。

支出について：今月の特徴的な支出は、中央社保協関甲信ブロック会議参加、地域社保協学習会開催費補助、社会保障入門掲載の社保誌100部、東京地評への事務所費と印刷費3カ月分の支出でした。支出累計は559万6,344円、執行率51.8%となりました。

また、総会での予算提案にそって4月からの月次も参考として作成しています。

II、協議事項

1、情勢から

(1) 全国一律の子ども医療費助成度の早期実現を 全国知事会議

全国知事会議が25、26日の両日、山梨県北杜市で開催され、国による全国一律の医療費助成制度の早期実現を求めた「子ども・子育てにやさしい社会を実現するための提言」などを採択した。出席した知事からは、「すべての都道府県が子どもへの医療費助成をしているが、対象となる子どもの年齢など都道府県ごとに助成内容が大きく異なる。住んでいる地域で差が生じるべきではない」（大野元裕埼玉県知事）など、国に制度化を求める意見が相次いだ。

国保の子どもの均等割保険料の軽減措置について、「対象年齢の拡大・軽減割合の拡充」の実現も求めた。現在は未就学児を対象に一律5割軽減している。

(7/31付 国保情報)

(2) 国保の財政支援と子育て世帯の保険料軽減拡充を 区長会

特別区長会（会長・吉住健一新宿区長）は1日、6年度の国の施策・予算に関する政府への要望活動の概要を明らかにした。7月31日の加藤勝信厚労相との面会では、吉住会長が国保保険者への財政支援と子育て世帯の保険料軽減をさらに拡充するよう要請。マイナンバーカードと保険証の一体化にも言及し、デジタル戦略を推進する国の責任において、特別区への適切な財政措置を講ずるよう求めた。

外国籍の被保険者割合と転出入割合がともに高いという大都市特有の事情から国保の保険料徴収は非常に厳しい状況に置かれている。吉住会長は、こうした保険者の努力だけでは解決し得ないさまざまな問題を抱えていると説明した。

要望書は、国保への財政支援について、定率国庫負担割合の引き上げや調整交付金の財政調整分の別枠化を盛り込んだ。また、子育て世帯の保険料軽減では、未就学児までの均等割5割軽減の対象・軽減割合のさらなる拡充を掲げている。

特別区長会によると加藤厚労相からは、マイナンバーカードと保険証の一体化について、「総務省とよく相談しながら、特別区側の要望に沿って進めていきたい」旨の発言があったとしている。

(8/7付 国保情報)

(3) 24年度予算編成、保険料負担の上昇抑制を重視 財務省・端本主計官

7月の人事異動で財務省の主計局主計官（厚生労働係、社会保障総括担当）に着任した端本秀夫氏は、年末の2024年度予算編成に向けて、本紙の取材に応じた。「トリプル改定」への対応を含めた社会保障費について、「現役世代の保険料負担の上昇を抑制するという点は、特に重視していく必要がある」との見解を示した。トリプル改定では、負担上昇を抑制する観点に加え、担い手の確保と生産性の向上を課題に挙げた。

●5つの基本的考え方 「全世代型」構築やDX推進

端本氏は予算編成に当たって、5つの基本的な考え方を示した。①全世代型社会保障制度の構築②費用負担の見える化推進と、配分見直しの徹底③医療・介護の担い手確保④現

役世代の保険料負担⑤DXの推進一を重点課題として検討する姿勢を示した。保険料負担については、現役世代が負担する医療・介護の給付費の伸びが、現役世代の総報酬の伸びを相当程度上回っているため、保険料率が上昇していると説明。「保険料率がいつまでも上がり続けると持続可能ではない」とし、持続可能な全世代型社会保障を構築する観点で「しっかりと議論していかなければならない」と述べた。経済の好循環を実現する上でも、保険料負担上昇の抑制は重要な視点だと強調した。

●トリプル改定、生産性向上で賃上げや需要増に対応を

トリプル改定については、「担い手確保などの課題にはしっかりと対応するが、配分はめりはりを付け、全体として保険料負担が上昇することがないように最大限努力していくこと」が必要だとした。併せて、生産性を上げ、賃上げや増加する需要に対応できる体制を構築することも課題に挙げた。全体の就業者数が横ばい、微減の状況にある中、医療・福祉の就業者をこれまでと同じように増やしていくことは一層、難しくなると指摘。「担い手確保という観点では、1人当たりでこなせるサービス量を増やす、生産性を上げていくことが極めて重要だ」とした。財務省は財政制度等審議会で、ICTの活用や、看護配置基準の見直しなどを打ち出している。「他の産業と同様、ICTなどをしっかり使い、職場環境の改善・業務効率化を図ることをかなり意識しないといけない。人員配置基準もしっかり見直していくことが必要だ」と語った。

●リフィル処方「効果が発現していない、必要な調整を」

22年度診療報酬改定で導入したリフィル処方箋については、「大臣合意の通りの効果が発現していない」との認識を示した。「未達成分について、今回の改定の中で必要な調整をしていただくということになる」と話した。(8/17付 メディファックス)

2、当面の重点課題

(1) 東京社保協独自の取り組みなど

1) 都内医療提供体制の充実を求める

2023年度第1回の東京都地域医療構想調整会議は、島嶼地域を除いて終了しました。紹介受診重点医療機関の決定や外来医療提供体制の論議（来年度からの外来医療計画の改定に反映。12月以降保健医療計画の中でパブリックコメント実施）など、医療アクセス抑制につながる論議がされていますが、都民にその内容が伝わっていません。どのように伝えていくか、各圏域の状況を把握して地域の運動と連携させていくか、必要な働きかけや意見表明をしていくことが必要です。

都立病院の充実を求める連絡会が、この間のアンケート集計を分析し、ビラにして9月頃に発行予定との事です。

…ビラにはアンケート集約結果と独法化されたそれぞれの病院の現状を掲載し、9月中旬にはできる予定。独法化されたすべての病院で、職員募集が行われているが、看護師退職などによる人手不足で病床フル稼働できていない。広尾のERも全面展開できておら

ず、行政的医療の後退と言える。コロナ禍で外科手術ができなくなり、医師がだいぶ辞めてしまったことも背景にはある。調整会議では、地域での病院の役割が明確化されてきており、広尾病院は、8月から紹介受診重点医療機関となり、紹介状なしの初診は7千円負担（従来は3千円）となった。この様にかかりにくい病院になって、都民アクセスを制限するような方向になっている。救急を受け入れられない状態になっており、確実に行政的医療は後退している。厚労省は高齢者の救急車利用を控えるように広報している。高齢者は我慢する様に雰囲気的に追い込まれているのではないか？

・・・運動をわっさわっさしていかなければならない状況だが、やる主体の方も高齢化してきている。そうした実態はほとんど都民には知られていない。都民全体の話題、要求にしていくにはどうしたら良いのか？身近な団体の会議でも、常幹で聞く話と違っていたりする。

前回の幹事会では、コロナが5類に移行して、検査自己負担が受療の妨げになっていたり、介護職員の中では感染経路を追わないので不安、コロナ罹患による介護職員不足で利用者が大変、介護事業所の経営はその影響に物価高が加わって経営が厳しくなっている等の状況が出されました。現時点では都民要求大運動実行委員会として7月末に都に提出した要請項目（9月末に文書回答、10月末に対都交渉）に、それらも含め一定は反映されています。それ以外に社保協として問題をどう取り上げ、都や都議会へ要請していく具体化は引き続き考えたいと思います。みなさんから要請項目や、具体化についての案があれば、事務局へお寄せください。

2) 新生存権裁判東京 勝利に向けた取り組み

資料：11～14

秋から来春にむけて、おおきな山場を迎えるので、さらなる力の結集をお願いします。

①署名・学習会、原告を励ますつどいの取り組み

加盟組織に7～9月期間集中で署名の取り組み強化のお願いとこの間発行したニュース、署名用紙を送付しています。来年2月までに目標5万筆（現在到達3万筆）。毎回の口頭弁論日に署名を提出しています。

今期第2回 原告を励ますつどい、学習会

- ・10月7日(土) 14時～ 地域保健企画ビル6階会議室

(立川駅、西国立駅徒歩10分)

2週間後の口頭弁論で原告数人の意見陳述があることから、文字通り激励のつどいとしての位置づけです。当日は、「生活保障法」についての学習会も行います。

②宣伝行動への参加

次回宣伝行動予定

- ・9月9日(土) 17～18時 巣鴨駅頭

*11月は高幡不動か豊田駅の予定

地域・近隣諸団体の協力もお願いします。

③口頭弁論日程

- ・ 10月16日(月) 13時半 開廷
16時～ 報告会 第2衆議員会館 第1会議室
原告の意見陳述など
- ・ 12月12日(火) 13時半開廷 その後報告会 時間場所未定
結審
- ・ 来年3月まで 判決

法廷は東京地裁103号法廷（傍聴84席）です。開廷1時間前から地裁前で宣伝行動を行います。報告会は、裁判が長引いた場合は閉廷40分後から開催します。裁判傍聴、報告会、宣伝への可能な限りに参加をお願いします。

3) 自治体への調査や自治体・議会への要請など

資料：15～35

・ 都議会開会日行動

9月19日(火) 12時15分～13時 都庁第一庁舎前

今年も、都民大運動実行委員会として7月末に対都来年度予算要望を提出しました。これに対する文書回答が9月末に届き、10/3に回答に基づいて都庁行動日に要請をする再質問を提出します。都庁行動日（対担当者要請）は10/27終日実施予定です。

来年度にむけて各自治体で様々な計画の案が出され、パブリックコメントが実施されます。ぜひ、積極的に意見を送付しましょう。

また、各地域社保協の取り組み状況をお知らせください。請願・陳情書なども含めて社保協間での交流を行っていきたいと思います。

現在、東京社保協として計画・課題としている調査・要請は下記の通りです。地域社保協や諸団体の協力もお願いしたいと思います。

①国保関連

- ・ 別紙国保アンケート（以前示した内容を修正しました）を各自治体宛に送付します。
- ・ 東京社保協および人権としての医療介護東京実行委員会はそれぞれ、9月都議会に保険証廃止中止を求める請願を提出する予定です。
…文案への修文があれば、早急に事務局へ知らせて欲しい
- ・ また12月都議会提出に向けて「高すぎる国保料を引き下げよ」請願署名に取り組みます。本日、請願文案を提案し、9月から署名を開始したいと思います。
…9月初旬までに請願文についての意見を事務局に寄せて欲しい。また、過年度と同様に取り扱い団体として民医連、東京土建、東京地評としてよいか各団体での確認をお願いしたい。

20230824第4回常任幹事会

- ・地域社保協では、運営協議会への傍聴をはじめ、国保料（税）の引き下げ、独自の減免拡充などとともに、現行通りの保険証（資格確認書）交付や短期証廃止に伴う対応（特別療養費の支給の通知）等について、自治体と懇談や議会への請願陳情をしてください。

…葛飾は9月議会に国保請願を提出する予定

②東京後期高齢者医療広域連合及び議会への働きかけ

11月に定例議会が開催されますので、保険証廃止中止や保険料値上げ中止などで広域連合や議会へ要請・陳情を行っていく予定です。地域社保協は、地元出身議員とつながりをつくってください。

③加齢性難聴について（再掲）

引き続き、総会資料の補聴器助成制度の実態把握の後追いをするとともに、地域社保協などと情報を共有しながら、全都的な要求運動に向けた取り組みをめざします。

④多摩地域への保健所増設

団体へ知事要請への賛同のお願いがありましたので、東京社保協としても応えたいと思います。地域社保協でも検討をお願いします（先月幹事会資料にも添付）。

…東京社保協として賛同する。

4) 東京社保協ライン公式アカウントの試験運用とお友達登録のお願い

- ・加盟団体で担当を決めていただき、最低1アカウントお友達としての登録や拡散をお願いします。後30でお友達100となります。その時点で有料契約とすることも含め、双方向のやり取りに移行していきたいと考えています。

5) 「4の日」宣伝（Since2017年2月～）など

①東京社保協・中央社保協の共同での「4の日宣伝」

- ・8月は休止し、今回は9月14日（木）12時～、巣鴨駅前

②各地域社保協での独自・共同宣伝（再掲）

9の日宣伝、25日宣伝や消費税宣伝に諸団体と合同しての実施も含めて、地域社保協として計画してください。中央社保協が各種プラカード案を作成しています。

6) 社会保障入門テキストなど学習会の開催について（再掲）

- ・来年度の医療・介護報酬、制度改定を意識して各地域で学習会等の開催を旺盛に進めてください。総会で改めて要綱と申請用紙を周知しました。講師料・会場費などへの補助を年間1万円まで/団体をしますので、積極的に活用してください。

(2) 中央社保協の取り組み関連

1) 全国署名など社会保障制度充実

資料：36～41

- ・10・19いのちまもる総行動
10月19日(木) 13～14時半 日比谷野音 その後パレード
- ・75歳以上医療費窓口負担2割化中止を求める運動
引き続き署名とともに学習・宣伝・相談活動で生活実態をつかむ等の行動を続けていきます。
- ・「軍事費の拡大ではなく社会保障の拡充を求める請願」署名の取り組み
秋の臨時国会での提出にむけて大いに署名の取り組みを広げてください。また、地元国会議員に紹介議員要請を行っていきましょう。
- ・介護関係
 - ・団体署名は引き続き取り組んでください。
 - ・新たな介護請願署名が完成し、昨年同様にキックオフ集会を開催します。
9月1日(金) 18～19時 オンライン
 - ・第21回 全国介護学習交流集会
10月9日(月・祝) 13時半～16時半 全労連会館2階ホール+オンライン
 - ・第13回 介護・認知症なんでも無料電話相談
11月11日(土) 10～18時 電話：0120-110-458
各団体におかれましては、発行のニュースなどで構成員に周知するとともに、チラシやポスターを活用して広範に知らせてください。
…前回、当日の相談員を派遣して頂いた団体には、今回もお願いしたい旨、派遣要請はすでに行った。また、その他の団体からもぜひ、相談員を派遣して欲しい。当日の昼弁当は用意する。

2) マイナンバーカード問題

資料：42～45

8/4に東京社保協も加盟している「マイナンバー制度反対連絡会」総会が開催されました。2022年度の運動総括と2023年度方針を決定しました。当面の方針として、保険証廃止中止の①署名やSNS発信、国会行動に取り組む。②地方での共同組織づくり、自治体や議会への要請を行う。③25日宣伝行動をはじめ宣伝・学習を推進する。など草の根運動が重要であると提起されました。

- ・「現行の保険証を残してください」国会請願署名や宣伝に取り組みましょう。
地域社保協にはチラシ付き署名用紙を各10枚と返信用封筒を送付します。
9月25日(月) 17～18時 新宿駅南口 街頭署名宣伝
11月16日(木) 署名提出国会行動(予定)
- ・ひな型を参考に行政要請や議会請願に取り組みましょう。
…これまでに請願が採択され、国に意見書を出した議会は、鳩山町、三芳町、座間市、松本市、長岡京市、岩手県。都内ではいくつかの自治体で6月議会に請願・陳情を提出したが、採択されたところはなかった。

- ・学習会を開催しましょう。学習パワポを提供するとともに事務局が講師も行います。

3) 改憲阻止、核兵器禁止にむけた取り組み（再掲）

- ・引き続き「憲法改悪を許さない全国署名」「日本政府に核兵器禁止条約への署名・批准を求める署名」を広げ、諸団体とともに9、25日宣伝に取り組みましょう。

4) P F A S 汚染問題での交流と要請

資料：46～47

- ・9月6日（水） 13時半～ 運動交流と政府要請 参議員会館B107会議室+Web
参加申し込みは9/5までに安保破棄中央実行委員会 (anpohaiki@nifty.com) へ

5) 第50回中央社保学校 from 岡山

資料48～49

- ・9月16日～17日（日） 岡山市勤労者福祉センター+Web（県外者）
テーマ「権利はたたかう者の手にある」
～朝日訴訟の精神をあらためて学び、暮らしにいかそう～
中央社保協への申し込み締切は8月25日です
- ・東京社保協としては、申し込み締切を9月13日として、東京サテライト会場を2カ所設けます。ただし、事前に会場参加申し込みがない場合は会場を開きません。
東京サテライト会場：東京労働会館5階 東京地評会議室（23区会場）
地域保健企画ビル6階 会議室（多摩会場）

6) 第36回日本高齢者大会 in 東京 +Web（再掲）

チラシ参照

- ・11月12日（日）13時～ 学習講座・分科会 大正大学
13日（月）10時15分～ 全体会 文京シビックセンター大ホール
記念講演「非戦の安全保障論・・・戦争しない国であり続けるために」
柳澤 協二さん（元内閣官房副長官補、新外交イニシアティブ理事）
参加目標 会場 全体会 1,800人、分科会 1,700人（東京でともに1,200人）
Web " 2,000人、" 1,000人（東京で500人、300人）
参加費 3,000円/日、6,000円/2日
申し込み 8/1から受付開始 締切1次 9月末、2次 10月1日以降直前まで
- ・東京社保協は第10学習講座の運営を担当することになりました。
11月12日（日）13時30分～ 「マイナンバーカードで国民管理？」
稲葉 一将 名古屋大教授
14時45分～ 「インボイスとは何か？私たちの生活にどう影響するか？」
佐伯 和雅 税理士
- ・当日、会場での受付は東京土建から派遣して頂くことになりました。
- ・加盟組織においては、日本高齢者大会への参加組織をお願いします。

7) 第68回日本母親大会 in 山口 +Web (再掲)

・ 11月25～26日(日) 全体会 「あらたな戦前に抗する」

清末 愛沙 室蘭工業大学教授

3、当面の取り組みについて

1) 地域社保協交流会の開催について

資料：50～55

7/29は11地域16人(会場10、Web6)が参加しました。定例の会議や学習会、地域要求課題の取り組みなどを継続する中で、地域社保協としての活動が続けられている、役員体制を強化することによって活動が活性化しているなど、担う人の確保が重要ということが共通して語られました。また、地域組織の後継者問題も出され、加盟組織内での育成によるしかないのでは?と感じました。23区と多摩別々に開催して欲しいとの意見もありました。概略については、別紙報告を参照ください。

9か10月に第2回目の開催をしたいと思います。

2) 東京社保学校の開催について

日程 10月21日(土) 10～16時 けんせつプラザ東京 +Web

講師案 長友薫輝(佛教大准教授) 「高齢者優遇論」

寺尾正之(日本医療総合研究所) 「医療DX」、「診療報酬改定の動向」

テーマ案 PFAS、加齢性難聴、住まい、国保、介護

…当日、葛飾では生活支援・相談プロジェクトの予定。テーマとして社会保障の財源論について。それも含めて上記案で講師打診する。

地域社保協交流会で出されたテーマは、下記です

- ・ IT問題
- ・ 保育制度について。子育て世代だけの問題ではない。実態も含めて
- ・ 高齢者への負担増に対する財源論。欧米の年金・医療がどうなっており、それがなぜできているのか?現在の若者の高齢期時問題についても

4、決裁事項

- ・ なし

5、要請事項、その他

(1) 加盟団体・友誼団体の学習会、総会あいさつなど

8月26日(土)15:00～ 渋谷社保協総会・社会保障学習会 寺尾さん

8月31日(木)18:00～ 日野社保協第27回定期総会 小川

9月02日(土)14:00～ 広尾病院を守る会総会 マイナ保険証学習会 窪田

20230824第4回常任幹事会

- 9月03日(日)10:00～ 福祉保育労東京地本第44回定期大会 メッセージ
9月10日(日)16:00～ 東京歯科保険医協会50周年レセプション 吉田会長、窪田
9月21日(木)16:00～ 文京社保協総会・社会保障学習会 小川
9月21日(木)18:40～ 足立区労連マイナ保険証学習会 窪田
9月23日(土)10:00～ 私たちの暮らしと東大和市政のあり方シンポジウム
介護保険事業計画策定学習会

(2) 当面の日程

- 09月01日(金)13:30～ 生存権裁判を支える東京連絡会
18:00～ 介護請願署名キックオフ集会 オンライン
06日(水)10:00～ 中央社保協第2回介護・障害者部会
13:30～ 中央社保協第2回運営委員会 医労連会館2階+Web
08日(金)14:00～ 故公文昭夫さんを偲ぶ会 葛飾シンフォニーヒルズ
16～17日(日) 中央社保学校from岡山 オンライン
19日(火)12:15～ 都議会開会日行動
28日(木)13:30～ 東京社保協第53期第5回常任幹事会
15:30～ 人権としての医療介護東京実行委員会

(3) 常任幹事会の日程(定例日:毎月第4木曜日)

次回 9月28日(木) 13:30～ 5階東京地評会議室とオンライン